

## NetSupport ゲートウェイとは

---

NetSupport ゲートウェイは、NetSupport Manager の標準コンポーネントです。

NetSupport ゲートウェイの主な役割は、ファイアウォール又はインターネットを経由して、安定かつ安心なクライアント / コントロール接続を実現する事と、ウェブ・ベースの遠隔操作を実現する事です。

接続には、HTTP プロトコルを利用します。

( 現存しているファイアウォールの設定に修正を加える必要はありません。 )

NetSupport ゲートウェイを利用してクライアント / コントロールを接続する場合、クライアント / コントロール間に、直接的なリンクは張られません。

コントロールユーザーは HTTP プロトコルを利用して、NetSupport ゲートウェイに接続している複数のクライアントに接続する事が出来ます。

HTTP プロトコルを利用して接続するという事は、クライアント / コントロール間は直接的には接続されていない事を意味します。

よって、ファイアウォール配下のクライアント及びコントロールが NAT

(Network Address Translation) 超える際、ファイアウォールの設定に変更を加える必要はありません。

NetSupport ゲートウェイが効率的にクライアント / コントロール間を接続させる為には、NetSupport ゲートウェイ用の設定ポート番号 ( デフォルトは 443 ) で、クライアント / コントロールの双方を接続する必要があります。

NetSupport ゲートウェイが以前 ( バージョン 9.10 未満 ) 設定していたポート番号 3085 の使用も、既存のお客様の為にプールされていますが、クライアント / コントロールの互換性を確実にする為に、手動にて HTTP ポートの再設定が必要な場合があります。